

# 地域とともにある学校づくり

～コミュニティ・スクールを基盤として～

夢や志をもって  
たくましく生きぬく人づくり



よい校風・よい家風・よい郷風



地域の子どもは地域で育てる



新潟県上越市教育委員会

教育長

中野 敏明

# 上越市の概要

■四季の情景あふれる  
海・山・大地に恵まれた  
豊かな自然環境

■古代からつながる  
歴史と文化

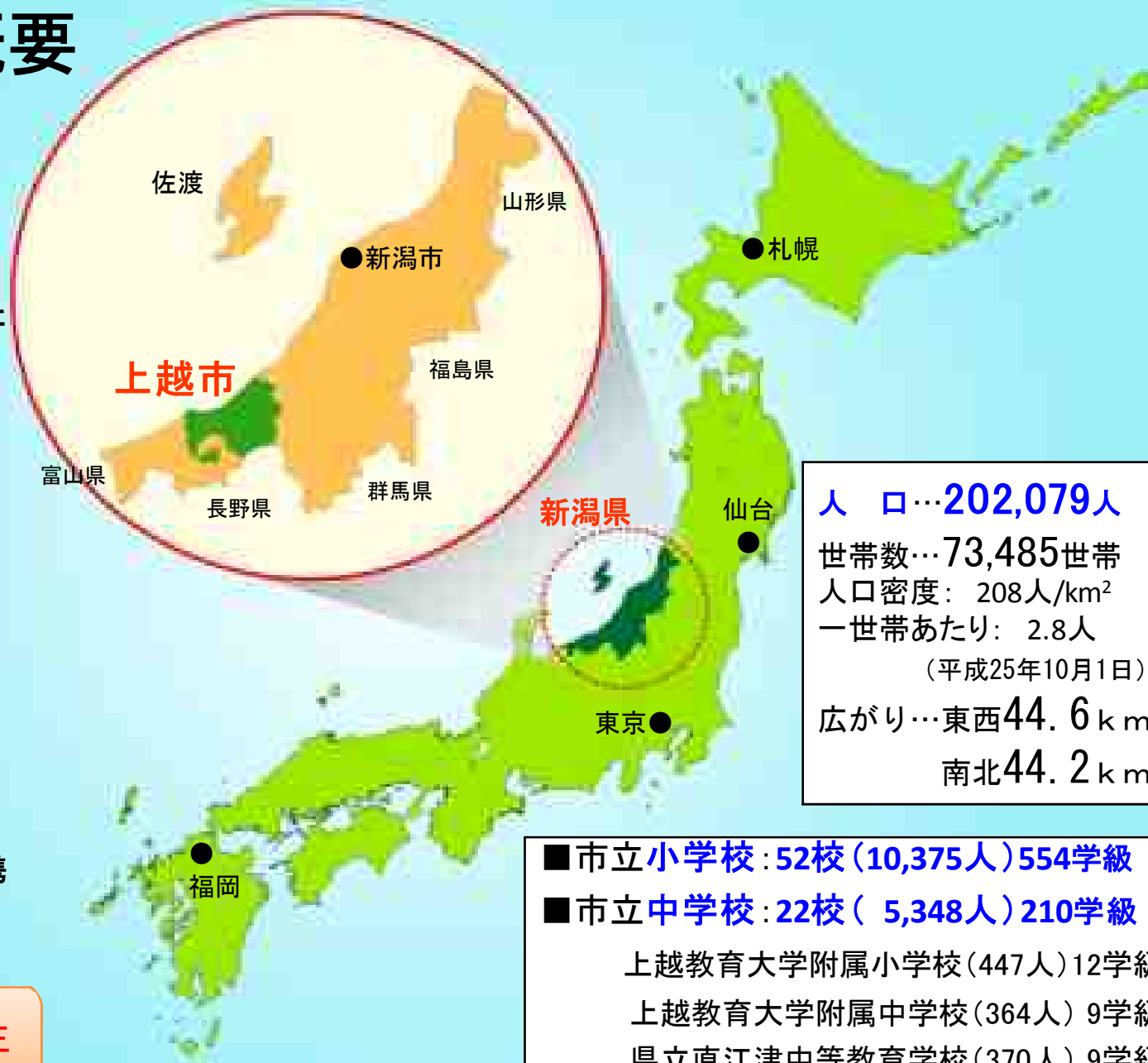
■まとまりのある  
人口20万の特例市

■上越教育大学、  
県立看護大学の  
2つの公立大学

■教育支援のNPO法人  
上越地域学校教育支援  
センターとの緊密な連携



教育文化都市の創生



人口…202,079人

世帯数…73,485世帯

人口密度: 208人/km<sup>2</sup>

一世帯あたり: 2.8人

(平成25年10月1日)

広がり…東西44.6km

南北44.2km

■市立小学校: 52校 (10,375人) 554学級

■市立中学校: 22校 (5,348人) 210学級

上越教育大学附属小学校 (447人) 12学級

上越教育大学附属中学校 (364人) 9学級

県立直江津中等教育学校 (370人) 9学級

## 厳しさを増す 子どもが育つ環境

少子化

核家族化

規範意識の欠如

所得格差の拡大

学ぶ意欲の低下

情報化

生活習慣の乱れ

社会性の低下

夢や志をもってたくましく生きる若者が  
自然に育つ地域環境をつくる

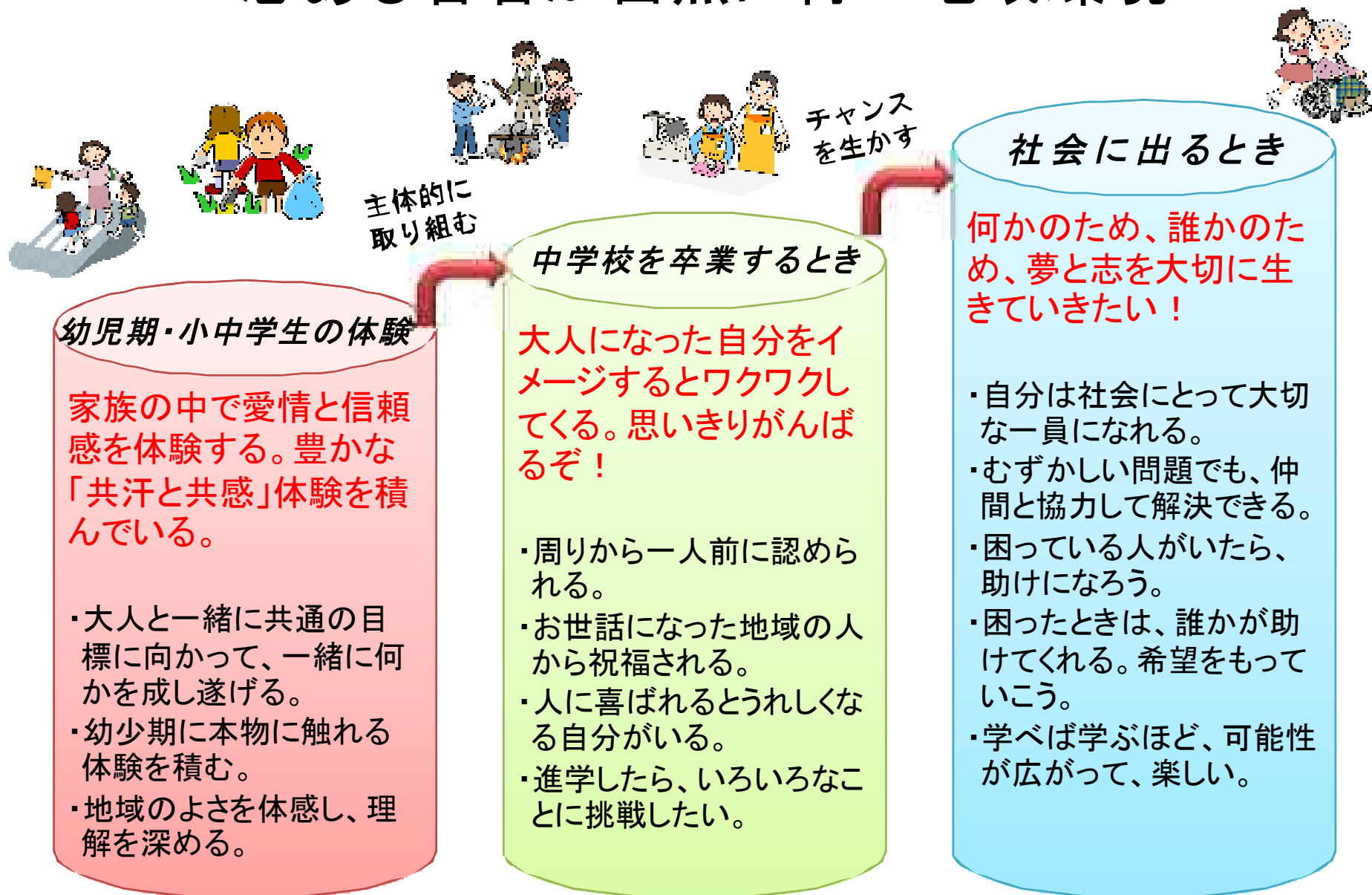
明るく元気な地域をつくる

輝く上越市の未来をつくる

学校・家庭・地域  
三位一体の教育の推進

夢や志をもってたくましく生きる若者  
人のために自分がありたいと決めた目標の実  
現に向けて、直面する困難を乗り越えてでも  
努力し、成し遂げようとする人

# 志ある若者が自然に育つ地域環境



## 幼児期・小中学生の体験

家族の中で愛情と信頼感を体験する。豊かな「共汗と共感」体験を積んでいる。

- ・大人と一緒に共通の目標に向かって、一緒に何かを成し遂げる。
- ・幼少期に本物に触れる体験を積む。
- ・地域のよさを体感し、理解を深める。

主体的に取り組む

## 中学校を卒業するとき

大人になった自分をイメージするとワクワクしてくる。思いきりがんばるぞ！

- ・周りから一人前に認められる。
- ・お世話になった地域の人から祝福される。
- ・人に喜ばれるとうれしくなる自分がある。
- ・進学したら、いろいろなことに挑戦したい。

チャンスを生かす

## 社会に出るとき

何かのため、誰かのため、夢と志を大切に生きていきたい！

- ・自分は社会にとって大切な一員になれる。
- ・むずかしい問題でも、仲間と協力して解決できる。
- ・困っている人がいたら、助けになろう。
- ・困ったときは、誰かが助けてくれる。希望をもっていこう。
- ・学べば学ぶほど、可能性が広がって、楽しい。

# 上越市総合教育プラン

(平成19年～28年)

基本目標(3) 基本計画(15) 実施施策(60) 重点施策(5)からなる

## 基本目標

ふるさとを愛し、自己実現を目指す心豊かな  
**人をつくる**

学びあい、生かしあう中で成長し続ける  
**地域をつくる**

自立し共生する社会で、一人一人が輝ける  
**未来をつくる**



# 5つの重点施策

緊急性・重要性の  
高いもの

平成24年度から

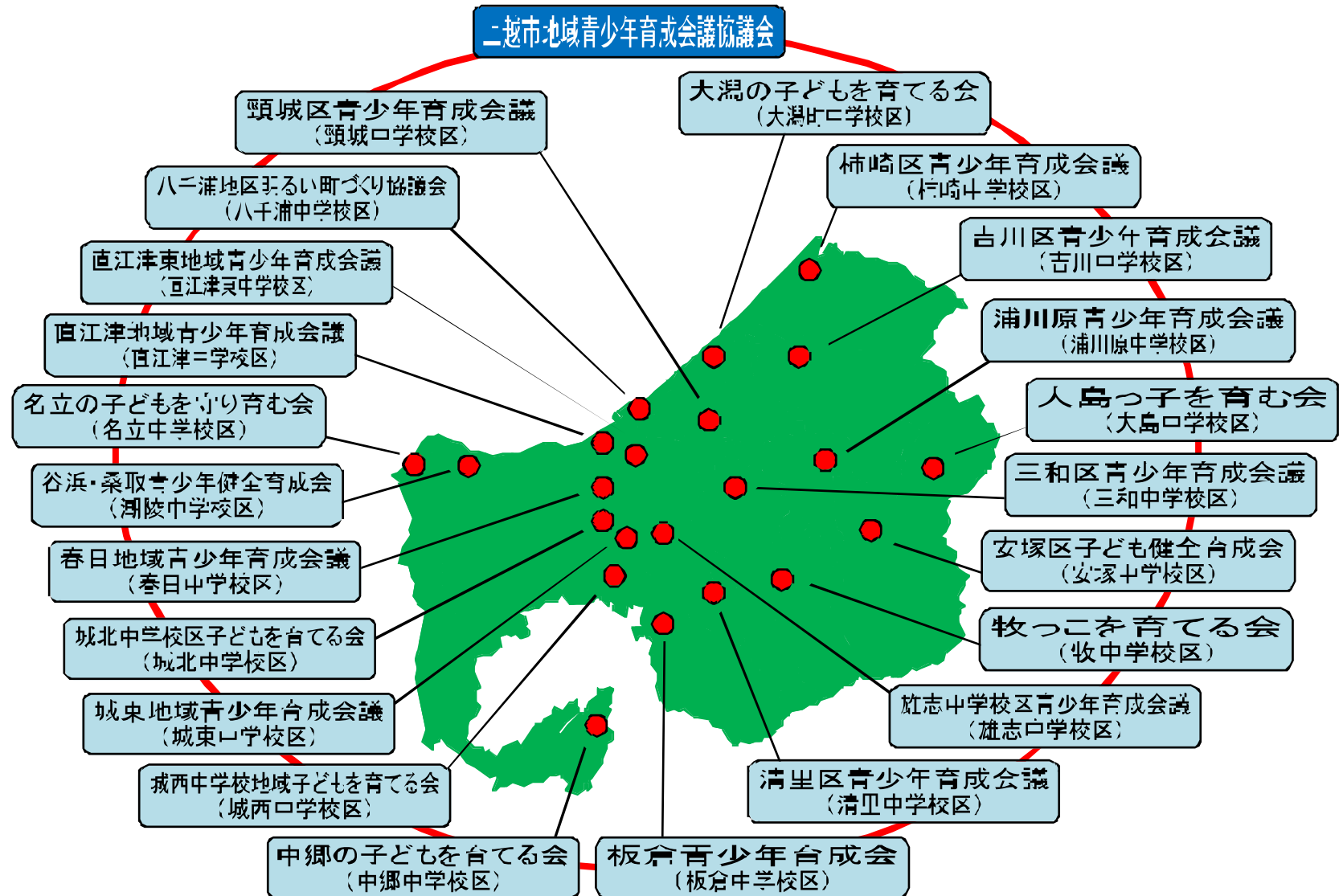
平成21年度から

コミュニティ・  
スクール

地域青少年  
育成会議

- ・開かれた学校教育の推進
- ・上越カリキュラムで  
上越市らしい教育の推進
- ・家庭の教育力の向上のための  
支援体制の整備
- ・身近に読書のある生活環境の整備
- ・地域の教育力の向上のための  
支援体制の整備

# 中学校区ごとに地域青少年育成会議



# 地域青少年育成会議

## 〇ねらい

地域が主体的にその地域の教育活動を考え、学校と連携して地域の教育活動を行う体制を整備し、その活動を通じて**青少年の健全育成と地域の教育力の向上**を図る。

## 対 象

- ・各中学校区に住む18歳以下の青少年



## 事務局所在地

- ・学校、教育委員会分室、公民館、会長宅、まちづくり協議会など。
- ・学校にある場合、希望すればコンピュータを設置する。

## メンバー

- ・学校、地域住民、諸団体、行政など、構成員は地域により様々である。
- ・教職員を事務局から外すことを推奨している。
- ・組織の形態も、地域により異なる。

## 学校と地域が二人三脚

- 教職員と地域の皆様ともっと交流し、顔見知りになりましょう。
- 学校として協力してほしいことをコーディネーターさんに知らせましょう。  
(平成25年度地域コーディネーター133人)

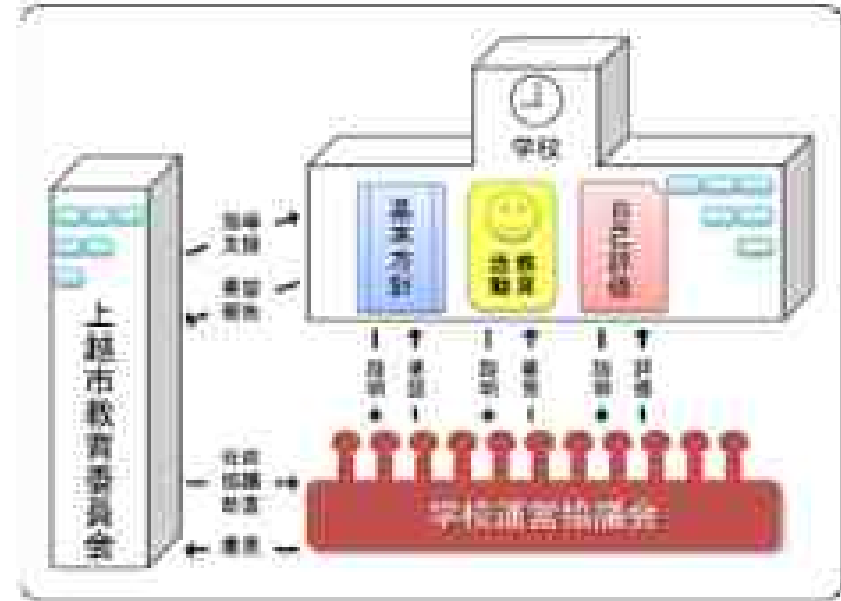


# 学校運営協議会

平成24年度 全小中学校 一斉に指定

## ■学校運営協議会の役割

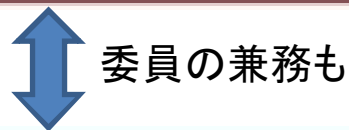
- ①学校運営の基本方針を熟議し承認する。
- ②学校の運営全般に意見を述べる。
- ③学校の運営状況を評価する。



## ■学校運営協議会の構成

### 学校運営協議会 (15人以内)

- ★保護者
- ★地域住民
- ★学識経験者
- ★公募に応じた市民(2名まで)
- ★当該指定学校の校長・教職員
- ★関係行政機関の職員
- ★教育委員会が適当と認める者



同じ中学校区の他の運営協議会

地域青少年育成会議

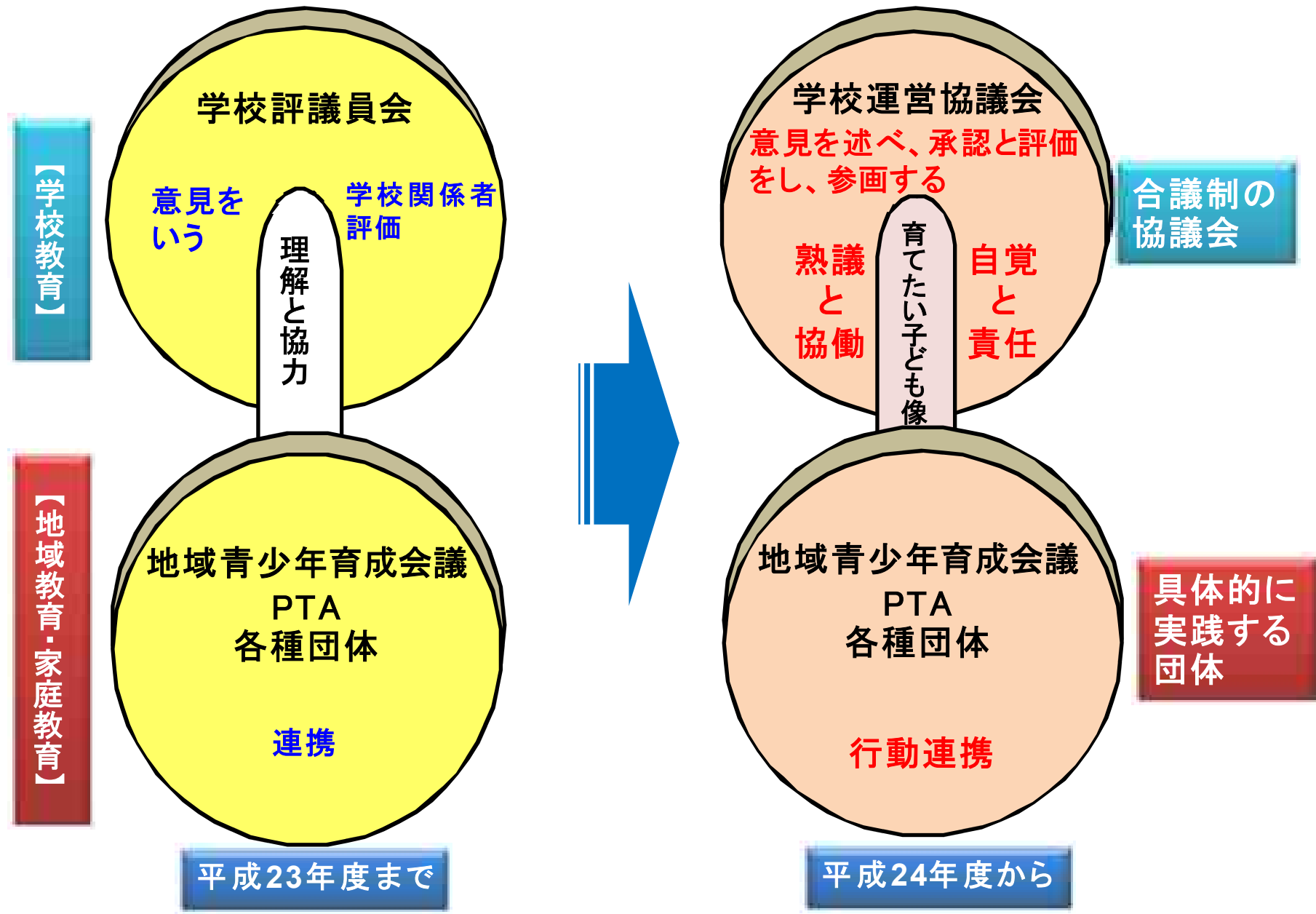
委員の兼務も

・任期は1年とする。  
ただし、再任は妨げない。

・協議会の会長、副会長は、委員の互選で決める。

・委員は、特別職の公務員となる。

# 学校運営協議会と地域青少年育成会議は、車の両輪で



# 組織づくりと強化



地域青少年育成会議協議会総会



事務局担当者会議



地域コーディネーター養成講座

学校支援地域本部事業も活用して



潮陵中学校区では、子ども委員を任命

# 活動の広がりと学び合い



育成会議実践交流会



まちづくりに向けた中学生ワークショップ



大島中学校区「大島っ子を語る会」



牧中学校区「牧っこ探検隊」

# 春日小学校

## CS委員とともに創るカリキュラム



地域をよく知る委員が生活科や総合学習を中心に、教育課程(カリキュラム)の内容や配列の検討にも  
参画



より充実した教育活動の創造

# 直東学園 (1中学校 4小学校)

## 直江津東地域青少年育成会議

市教育委員会

### 直東学園運営協議会 (理事会)

理事長

学識経験者

町内会代表

地域代表

保護者代表

校長

企画広報部会

教育方針・運営方針・広報活動・啓発

学校活動支援部会

学校支援活動

健全育成部会

青少年育成活動・生徒指導・サポート

家庭教育部会

家庭学習支援

活動評価部会

学校関係者評価・活動評価

### 学園支援本部

本部事務局

直江津東中

北諏訪小

保倉小

小猿屋小

春日新田小

学校支部

意見 ↓

意見 ↓

承認 ↓

意見 ↓

### 地域

北諏訪区

春日新田地区

保倉区

小猿屋地区

有田区

学校後援会

### 保護者会

直江津東中

北諏訪小

保倉小

小猿屋小

春日新田小

学校PTA

### すこやかネットワーク (直東学園教職員)

直江津東中

北諏訪小

保倉小

小猿屋小

春日新田小

### 市立保育園

北諏訪保育園

保倉保育園

小猿屋保育園

有田保育園

# 参加と参画～高校生になっても～

子どもの元気が地域の元気に！

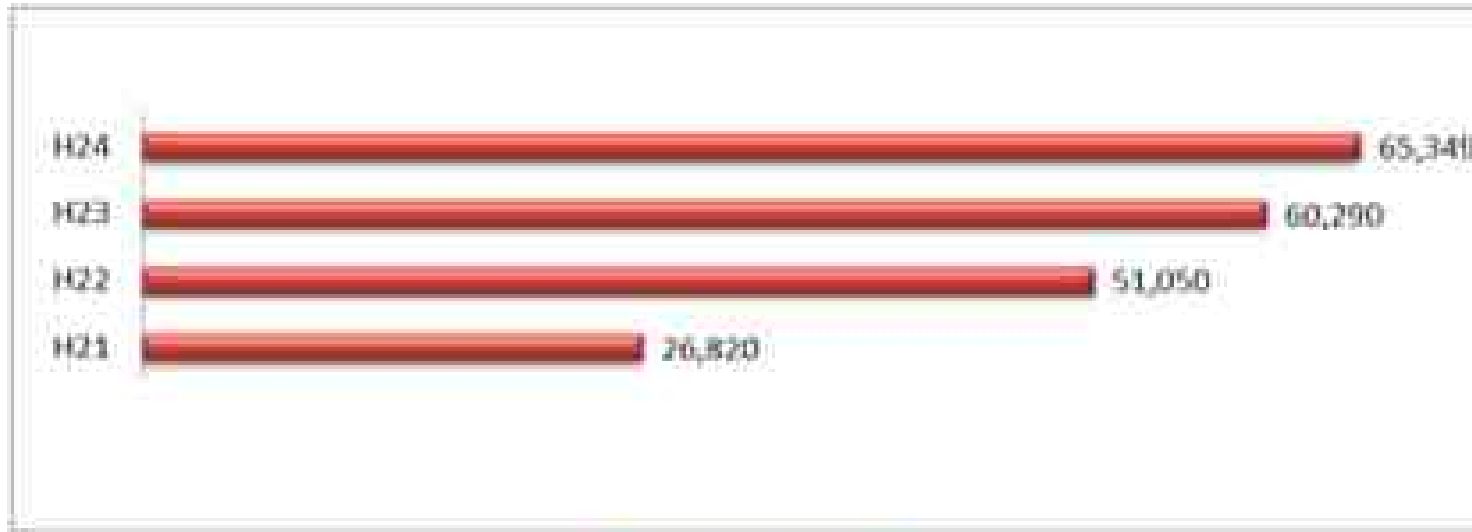


- ・テーマに基づいて、各学年が参加と参画するイベントを総合学習と特別活動の年間計画に位置付けている。
- ・「自分が楽しみ」「人にも楽しんでもらう喜び」を知った子どもは、高校生になっても参加・参画している。

1年生 中郷区を知ろう	中郷区敬老会(会場準備、後片づけ、案内など) よさこいなどの中学生演目
2年生 中郷区に学ぼう	中郷区体育祭(会場準備、後片づけ、種目の運営など) 中学生企画種目(イントロ〇×クイズ)
3年生 中郷区に貢献しよう	中郷区夏まつり(会場準備、後片づけ) 中学生企画(リサイクル 科学実験 笹団子・米粉クッキー販売等) ダンスパフォーマンス(今年度は書道も併せて)

# 地域で子どもたちの育成にかかわった市民の数

H24「地域青少年育成会議報告書」(上越市)から

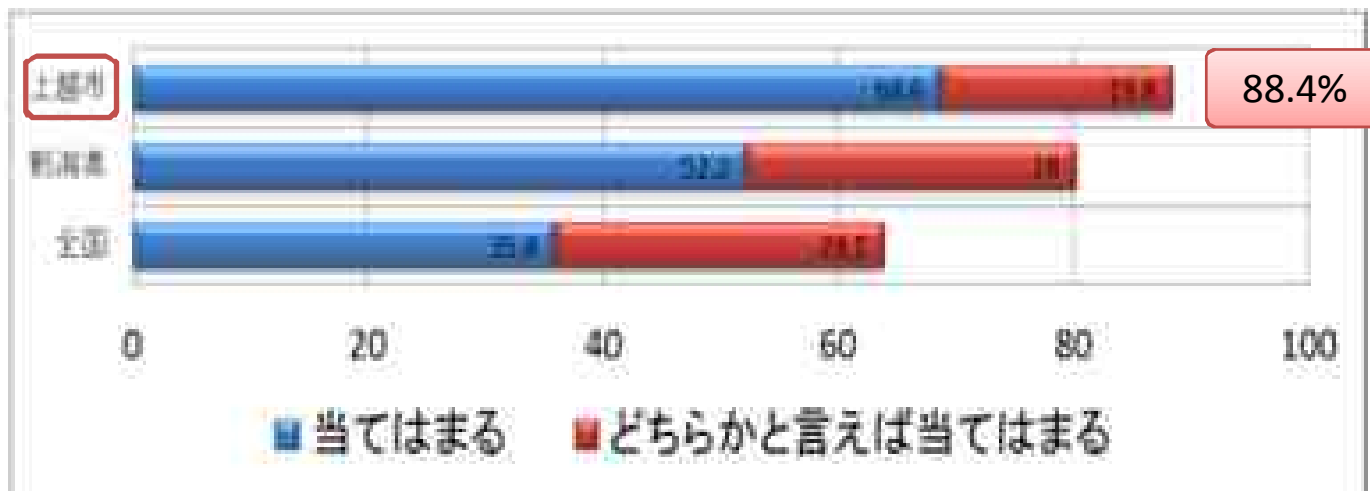




# 「今住んでいる地域の行事に参加していますか」

平成25年度全国学力・学習状況調査の質問紙の結果から

## 【小学校】



## 【中学校】



### 絆の深まり

↑

「また参加したい。参加しよう。」

↑

「参加してよかった、楽しかった。」

充足感

↑

両輪(CSと青少年育成会議)での

取組

↑

充実した地域行事

# 成果

平成24年度文部科学省委託調査研究報告書  
「地域とともにある学校づくり、学校からのまちづくりの  
推進に関する調査研究」(平成25年3月)から

## 学校では（春日小学校を例に）

- ①学校の様子を日常的に見るようになり、学校関係者評価が実効性をもつようになった。
- ②委員から責任ある建設的な意見が多く出されるようになり、教職員のやる気につながる。
- ③これまで教職員が担ってきた地域人材を教育活動につなぐ業務が軽減された。

## 上越市全体では

- ①校長会や教職員の意識がそろい、お互いの学び合いや主体的な研修が広がっている。
- ②委員の学校への理解が進むことにより、当事者意識をもち、自らできることは何かと考え、行動するようになった。
- ③カリキュラム改善に委員がかかわり、教育活動の改善が図られるようになった。

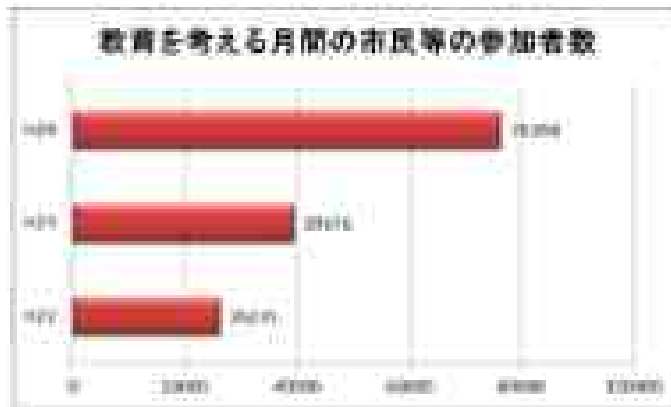
# より一層の充実のために②

## ～市民総がかりの教育へ～

### 【教育を考える市民の月間】

- ・「人を育てる営みは、学校教育だけでなく、家庭や地域とともに進めていくことが大切である。」という趣旨から、平成22年度から11月を「上越市教育を考える市民の月間」としている。
- ・11月第3土曜日には、「教育コラボ学び愛フェスタ」を開催し、市民ぐるみで教育を考える機会としている。

- ・「教育の日」の制定
- ・平成26年度は、広報誌（全戸配布）へのコミュニティスクールに関する記事の定期的な掲載も予定している。



上越市教育コラボ2013 学び愛フェスタ

11月16日(土)  
10:00～15:00

上越教育大学の講義  
子育て者もつくりフォーラム  
キャリアケースワークショップ  
パネルディスカッション・紹介書と  
一足書角

# より一層の充実のために③

～校長は家庭・地域をも視野に入れたマネジメントを～



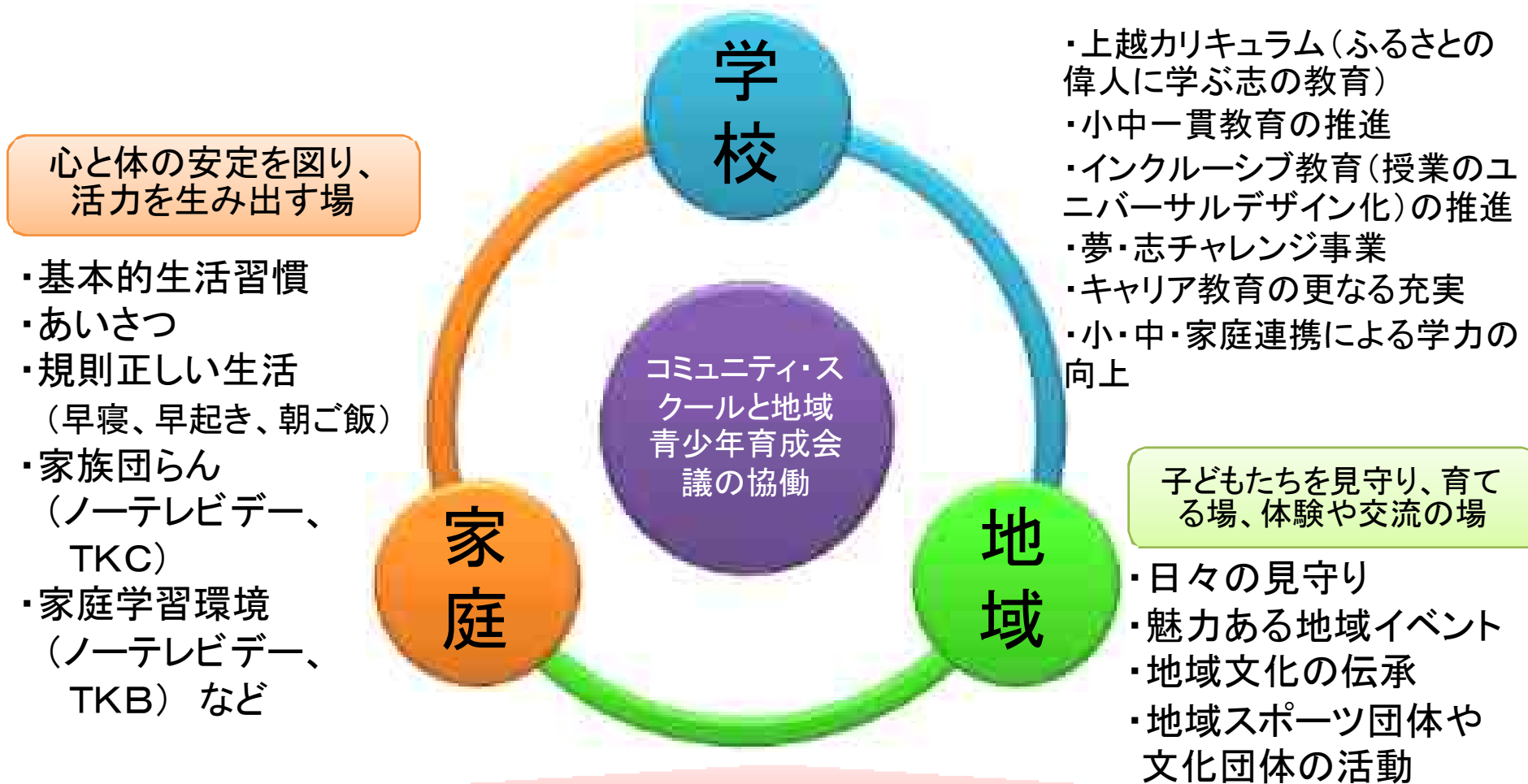
- ・上越市の校長会は、非常にまとまりがよい。また、自主研修を実施するなどして切磋琢磨している。
- ・校長会の力を結集し、さらに、上越教育大学と協力し、NPO上越地域学校教育支援センター(JSIRC)と協働して、よりよい学校経営を進めてほしい。
- ・マネジメント力の発揮を期待している。

## 【校長への期待】

- ・自校と自校を取り巻く環境(人的・物的)の的確な把握
- ・あるべき姿(ビジョン)、地域で育てたい子どもの姿の明確化とCS委員等との共有
- ・学校運営協議会での「熟議」から各種団体等との「実働・協働」に
- ・コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)を学校経営のツールとして活用するマネジメント力の発揮



# 志ある若者をはぐくむ取組



活動を下支え

よい校風・よい家風・よい郷風

# つながるネットワーク

～上越の資源や風土を生かして～

